

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 盛岡本宮教室

保護者等数(児童数) 35人 回収数 24人 割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19件	5件			もう少しだけ広くてもいいかなと思う。	・スペース確保のため、テーブルは必要に応じて だしている ・プログラム内容の変更もしている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21件	3件			・親が気付かなかった事にも気付き、親にも伝 え、共通理解になって支援をして下さって いる。 ・子どもから体を動かしたと言う話を聞くので スペースが確保されていると思う	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15件	8件	1件		・スロープや手すりがあるかわからない。	・必要に応じて対応していく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	23件	1件			・話を聞いてもらい、計画を立ててもらっている。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22件	2件			・毎日、子どもの楽しかったと言う話を聞くので、 すぐ工夫されているなど感じる。 ・いつも異なるプログラムを組んでいただき、 子どもも楽しみにしている。 ・バラエティーに富んだ活動が行われているので、 他の曜日でも利用したくなってしまふ。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5件	14件	5件		・交流はあまりしないでほしい。	・要望や環境等が整い次第、実施を検討して いく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24件					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23件	1件			・子どもの事をとても良く理解して支援をして下 さっている。 ・送迎時に、その日の子どもの様子を聞く事が 出来るので、すごく助かる。	・送迎時や連絡帳等で、共通理解出来るよう 努めている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22件	2件			・心配、不安な事を相談出来ている。学校との 間にも入ってくれ、一緒に考えてくれている。	・必要に応じて対応している。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9件	15件			・説明会が開催された事で、交流する事が出来 た。 ・夏祭りの開催があり、保護者同士の交流を 持てていい時間になった。	・相談支援と協働して開催する事が出来た。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20件	4件				・職員に周知し、再発防止に努めている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22件	2件			・リズムや送迎時に子どもの事や話をすることが 出来るので良いと思う。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20件	4件			・HPでの活動の様子は、遠くに住んでいる祖 父母も知ることが出来て、毎月楽しみにしてい る。	・ブログ等で療育内容を発信し対応している。
14 個人情報に十分注意しているか	24件						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20件	4件			・コロナなどもあり、何かあればすぐに声を掛 けて下さるので、こちらも気を付けてやる事が 出来ていると思う。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22件	2件			・毎月、訓練をして下さるのでとても有難い。 ・プログラムの予定表に、定期的に入っている のを見て、きちんと訓練が出来ていると思う。	・月1回、様々な災害を想定し、避難訓練を行 っている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23件	1件			・土日「こぼん」と言うくらい毎日楽しみにして いる。 ・楽しく通所しているので安心して いる。 ・「行きたくない」と言うことが1回もなく、毎日笑 顔で帰ってきているので、楽しみにしている と思う。	
	18 事業所の支援に満足しているか	24件				・今後も安心して通わせたいと思っている。 ・子どもが安心して通所出来るのが1番なの で、毎日楽しく通えるのは、親としてすごく満足 している。 ・親子共々、とても満足している。 ・毎回、ご機嫌で帰ってくるので、安心して利 用出来ている。	

0 0 0 0

#DIV/0!

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 盛岡本宮教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		13件	・体を動かす活動時はスペースが狭いと感じるが、活動や人数に合わせてテーブル等を動かしてスペースを確保して対応している	
	2 職員の配置数は適切である		13件	・送迎時や急遽休みになった際は適切でないように感じるが、休憩時間等を工夫して対応している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		13件	・身体的にバランスの悪い子に対しては、椅子等で対応している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13件		・会議録の作成、決定事項の再確認と会議不参加職員への周知の徹底	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13件		・面談での丁寧な聞き取りや送迎時のコミュニケーション、連絡帳を通しての情報交換により、保護者の意見も業務改善の検討事項として考えている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13件		・ブログにてお伝えしている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	13件			・第三者評価は実施していない。必要に応じて検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13件		・外部研修については案内を回覧している	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13件		・半年に1回、必要であればその都度面談を実施している	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13件			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	13件		・時間があれば児童の発達状況や保護者のニーズ、家庭環境に合わせた目標やないようを設定している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13件		・活動項目が同じ週や曜日に重ならないように、また活動の軸がぶれないように配慮している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	13件		・内容の検討を行いながら様々な活動を取り入れている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	13件		・児童の発達状況や課題などを考慮し、職員から提案したり保護者の要望を取り入れたりしながら個別と集団の活動を組み合わせ計画を作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13件		・毎日朝礼を実施し、全体の予定確認	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13件		・業務日報を記録し、気づきや反省点は職員で共有	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13件			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13件		・半年に1回、また必要に応じてモニタリングを実施		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	13件				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13件		・児発管、相談員、その他関係機関職員が集まっている	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13件		・学校からのお便りや同じ学校同士で書いてくる時刻の違いを見つけ、こちらからお話をするようにしている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		13件	・現在、医ケア児の利用がない。	・医ケア児の利用がない為、状況に合わせて検討していく。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	13件		・相談員を通して情報共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	13件		・必要であれば、提供する	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13件			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		13件		・要望や環境等が整い次第、実施を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		13件		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13件		・連絡帳への記入や送迎時のコミュニケーションなどで保護者との連絡を密にし、情報共有を行うようにしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		13件		・必要に応じて検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13件		・契約時に説明をしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13件		・その都度行っている。また、相談支援がついている際は専門員に伝えている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13件		・現在、コロナ禍ということもあり、開催出来ない。	・相談支援との協働にて開催した。今後も要望があれば検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13件			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13件		・ブログ等で療育内容を発信し対応している。	
	35	個人情報に十分注意している	13件			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13件			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	13件			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13件			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13件		・火災、地震、不審者など種類を変えながらプログラムに取り入れ、避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13件		・虐待防止マニュアル、子ども虐待対応マニュアルを策定、研修の開催	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13件		・身体拘束適正化のための指針を策定、研修の開催	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13件		・アレルギー表を作成し、提供時に確認しながら対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13件		・回覧、掲示、月例会議で再確認し、再発防止に努めている	